
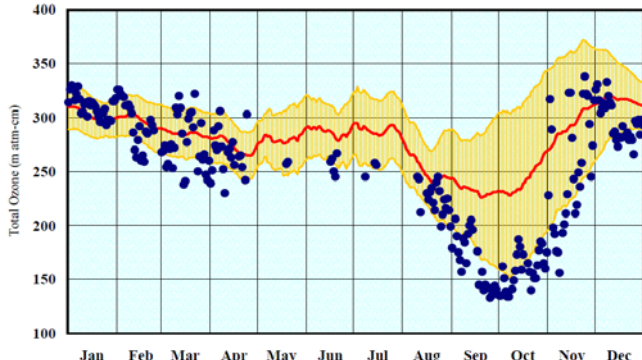


【タイトル】	オゾン観測
【サブタイトル】	オゾン観測データ
【観測期間】	1961年～現在
【観測風景】	
【データ概要】	<p>昭和基地(SYO)のオゾン観測は、1961年から開始されている。オゾン全量観測とオゾン反転観測を行い、オゾン全量とオゾン鉛直分布を観測している。観測データは世界オゾン・紫外線データセンターへ報告する。また、帰国後はデータレポートを編集する。</p>
【データ名】	オゾン観測
【観測点】	昭和基地
【データ形態】	デジタルデータ
【データ期間】	1961年～現在
【データ取得サンプリング】	1日1回～5回(季節によって変動する)
【観測機器】	ドブソンオゾン分光光度計
【データ公開】	南極資料(CD-ROM)
【データサンプル】	<p>(図タイトル) オゾン全量日代表値の年次変化(2003年)</p>  <p>Annual variations of daily representatives of total amount of ozone in 2003. <small>■:Area of normals $\pm 1\sigma$ (1971-2000).</small></p>
【データ管理者(問合せ先)】	気象庁
【e-mail】	antarctic@met.kishou.go.jp
【関連機関】	<p>世界気象機関(World Meteorological Organization:WMO) 世界オゾン・紫外線データセンター(World Ozone and Ultraviolet Radiation Data Centre:WOUDC)</p>
【主な研究成果】	<p>南極資料No.30,39,42,49,50,51,60,65,70,78,81 南極資料Vol.30,31,32,33,34,35,37,38,39,40,41,43,44,46,47,49,50</p>